



「今」

年3月21日に、『佐野の天明鋳物生産用具及び製品』が国の重要有形民俗文化財に指定されたという知らせを受けたときは、嬉しさに胸をなでおろしました」と、ほっとした表情をのぞかせた洋一さん。

洋一さんは幼少期より、若林家本家の敷地内で鋳物作りを眺めながら過ごし、自身に鋳物師の血が流れていることを感じるようになってからは「いつか鋳物作りをやりたい」と考えるようになっていました。そして60歳の時、退職を機にその思いを叶えることができました。「大学で鋳物の勉強をして、会社で鋳物に携わってきたものの、作るのとはとても難しかった。関心のある茶の湯の釜は長年の修行が必要です」と目を細めながら当時の様子を話してくれました。

千年以上の歴史と優れた伝統技術を持った天明鋳物は、時代とともに鋳造用具などの消失が懸念されるようになりました。洋一さんが70歳を過ぎた頃、鋳物作りを教え

次の千年に技をつなぐ

キラリ話題の人

若林 洋一さん

天明鋳物伝承保存会代表
金屋仲町



▲鋳造作業中の秀真さん（左）と洋一さん（右）

てくれたいとこの若林秀真さん（若林鋳造所六代目）から「鋳造所に残る生産用具と天明鋳物の伝統技術を伝える資料を未来へ残したい」という思いを告げられたことがきっかけとなり、天明鋳物の「重要有形民俗文化財国指定」を目標にして「天明鋳物伝承保存会」を2人で立ち上げました。

保存会を設立した平成19年中に10名の新規入会者を迎え、保管棚の設置工事から始まり、平成25年頃より鋳造用具や製品一品ごとの外観写真・図面などの記録カードの作製とその電子化、令和5年5月にこれらの資料と製品を佐野市に寄贈。今年1月の吉報となるまでに、いくつかの難関があり、あまたの苦労があったとのことだ。

「今後とも、会員が150名を超えた保存会は佐野市と協力して、天明鋳物に対する理解と関心を多くの方々に広めていきたい。後継者の育成をしたい。そして、天明鋳物の発展と継承の道の拡大を願う」と抱負を語る洋一さんは次の千年を見つめています。

（市民記者 中里聖子）



ようこそ
市長室からこんにちは！



佐野市長
金子 裕

4月、5月と既に夏日・真夏日が頻発しており、まだ体が暑さに慣れていないこの時期は、熱中症になりやすい時期となりますので、こまめに水分を補給するなど、ご注意ください。

さて、本市では環境省が発表する「熱中症特別警戒アラート」の発令対象期間に合わせ、指定暑熱避難施設である「クーリングシェルター」を市の施設32カ所で開催しております。昨

年は名称を「涼み処」として運営しておりましたが、法律の改正に伴い、全国共通の「クーリングシェルター」へ変更しました。この変更により市長がシェルターを指定できるようになったため、市と共に熱中症対策に取り組んでいた民間施設でのクーリングシェルターを随時募集しております。民間の皆様のご協力をお願いするとともに、決まり次第、公表していきます。

ます。

また、昨年より、真夏を避けて開催しております、さの秀郷まつりにつきましては、さの秀郷まつり運営委員会と日程を協議し、9月28日（土）と29日（日）の2日間で開催することが決定されました。

初日はちびっこさのまる音頭や市民総おどり、よさこい、ねぶた巡行などを行い、2日目はみこし・おはやし巡行を中心にイベントを実施していきます。久々の2日間開催ですので、大いに盛り上がり、本市経済の活性化にもつながることを期待しております。

6月は梅雨入りの季節であり、天気が崩れる日も多くなると予想されます。気温差も大きくなりますので、体調管理に十分気を付け充実した毎日を送りましょう。



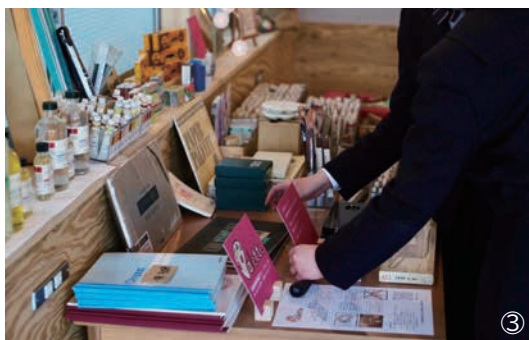
幅広い世代が古き良き時代を懐かしむ Back to the 1980s

佐野駅近くのレトロな昭和の雰囲気が残る二条通りにて、路地裏マーケットと題されたイベントが行われ、1980年代の駅周辺の街並みの写真展も開催されました。

写真展では、主催の「ぱっと二条プロジェクト」代表の溝口さんが所属する栃木県建築士会佐野支部所蔵の約200点が、二条通りの各所や近隣の協力店舗などに展示されました。当時を知る来場者の中には「昔は本当ににぎやかな通りだったんですよ」と懐かしさに目を潤ませる方も。対して、若い世代の方には「こんなに多くのお店があったことにびっくりしました」と新鮮な驚きがあったようでした。

幅広い世代の方が古き良き時代を懐かしんだ今回のイベントでは、コーヒー・軽食のテイクアウトや雑貨販売の出店もあり「再び人々が行き交う街づくりのきっかけになってほしい」との思いが込められているそうです。

(市民記者 小林春美)



- ①メインの展示会場であるゲストハウスは、コーヒーの香りに包まれました
- ②広場に展示された写真を前に、思い出話に花が咲きます
- ③今年オープンしたカフェでは文房具などを格安で販売



一足早く夏気分を満喫 くずうフェスタ2024開催

5月11日(土)葛の里壱番館周辺で「くずうフェスタ2024」が開催されました。

恒例の福引大会やそばの振る舞いのほか、消防や警察車両の展示、クリケット体験、サイコロゲームなどが行われ、子どもから大人まで多くの方が楽しんでいました。ステージでは、佐野ブランドキャラクターさのまるが登場し、会場は多くの来場者でにぎわいを見せていました。

また、夜には第43回目となる花火大会が開催され、葛生の夜空を約8千発の花火が彩りました。花火会場では出店も多く並び、来場者は一足早く夏の気分を満喫していました。



新たに若い力が加わりました 佐野市消防団に高校生が入団

5月1日(水)、佐野市消防団に市内在住の高校生、石川莉子さん(佐野日本大学中等教育学校6年)が入団しました。

高校生の消防団入団は市内はもとより、県内でも初めての事例となります。佐野市消防団の谷和文団長から辞令交付を受け、石川さんは「将来、災害支援ナースを目指す中で、消防団員として災害や救急現場で実践的な活動を学びたい。精一杯頑張りたい」と力強く意気込みを話してくださいました。

石川さんの入団により、佐野市消防団に新しい若い力が加わり、今後、若年世代の理解や入団への契機になることを期待しています。